

# 地域おこし協力隊 活動報告書

2024年2月19日（月）

木谷海斗

## 0、はじめに

小川町の地理／商都の歴史／和紙／有機農業／そして過去現在と活躍する人々が織り成し育んできた文化に、魅力と同時にまだそれらを組み上げていく土壌があるように感じ、この土地で、文化をより育む空間や形、関係性を構築していく建築家として関わっていきたいと考えています。

## 1、活動の概要（活動期間：2023年4月～2024年3月）

- LINE「小川町情報スモリバ」を活用した情報発信
- 小川町若者未来会議の運営
- 停車場通り商店会主宰「空き店舗未来会議」の参加
- その他

## 2、各活動の紹介

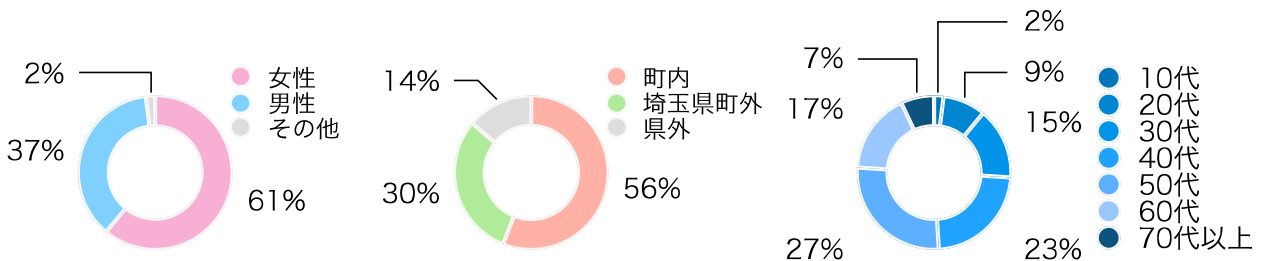
### ■LINE「小川町情報スモリバ」

#### ○概要

SNSサービス「LINE」を媒体に小川町の様々な情報を配信する「小川町情報スモリバ」基本毎週水曜日に配信し、運営および取材、編集、デザインなどを行っています。

#### ○登録者数、配信数など（別紙参照）

- ・現在の登録者数：**13,349**人（2023年4月5日時点9,047人）
- ・登録者比率下図参照（登録時アンケートより）
- ・配信回数：**52**回（2023年4月～2024年2月）（去年度：64本、初年度：61本）
- ・記事数：**155**本（2023年4月～2024年2月）（去年度：154本、初年度：120本）
- ・日平均記事数：**2.98**本/日（去年度：2.40本/日、初年度：1.96本/日）



#### ○配信・活動内容

- ・一般記事（**124**本）：小川町でのイベントや店舗などの告知情報を紹介する記事
- ・取材/執筆等の記事（**31**本）：インタビュー記事や、イベントレポートなど自分で書いた記事
- ・スモリバLINEクーポン：10月から1月にかけて展開  
総利用枚数**18,785**枚、総利用金額**8,539,350**円

## ○振り返り

### ・ローカルメディアとしての維持

スモリバが大きなメディアになりました。その分大きな配信維持費がかかっており、配信数が限られる中で発信する情報には、より価値や独自性を見出した方が良いです。自身のちょっとした言葉遣いや見た目のレイアウトによって、LINEではあるが独自の媒体になっているのだとしたら、1次情報だけでなく運営の担当者や記事を書くライターの個性が重要であり、後任の方の特徴をよく捉え、自分がこれからも関わる余地を作りつつ、ライターが増えていく環境をつくる必要性を感じています。

## ■小川町若者未来会議

### ○概要

小川町と関わりのある若者たち（10-20代）が集まり、地域の課題を考え、解決に向け動いていく「小川町若者未来会議」。今年度は、第3期の去年度に企画立案したイベントの実施に向けて会議を重ね、謎解き×まちあるきイベントを2回開催しました。

### ○活動内容

- ・2023年4月から計7回の会議を開催
- ・10月29日 イベント「小川マスターになる！星夢ちゃんからの挑戦状」を開催  
→85組95名参加
- ・1月27日 イベント「第2回小川マスターになる！星夢ちゃんからの挑戦状」を開催  
→20組21名参加
- ・3月10日 成果報告会を開催予定

### ○イベント実施に向けて

イベント開催に合わせて、謎解き冊子、謎解き解答冊子、チラシ、記念バッジ、各謎解きや謎解きスポット等の準備や制作物について、メンバーの補助を行う。

### ○振り返り

#### ・互いの学び合う場

メンバーたちの活動をサポートしつつも、メンバーが考える発想やどのように相手の思いを形にしてあげれば良いかなど、こちら学ぶことがたくさんありました。町内での若者間の所属・コミュニティを超えた繋がりは、同世代が互いに学び合う場として、継続して町が確保することは重要だと考えます。

## ■空き店舗未来会議

### ○概要

小川町停車場通り商店会の分科会活動。宿泊、不動産、建築、まちづくりなど多様な専門分野や職種のメンバーが参加し、空き店舗の調査、物件オーナーさんや地域の方へのヒアリングから始め、物件活用に向けたワークショップを実施しています。

### ○活動内容

#### ・運営メンバーの会議、ワークショップ

定期的に運営メンバーにて打ち合わせを行い、停車場通り商店会会員を集めて空き店舗の活用法などをテーマにワークショップを開催。

#### ・空き店舗内覧会

1月31日に「メンズショップツルヤ」を対象物件にして、空き店舗内覧会を開催。

#### ・制作物

KIWIarchitectsとして、ワークショップシートや既存建物の実測・図面を制作。

### ○振り返り

#### ・来年度に向けて

建築家として関わった初めての共同的な町の動きであり、自分としてもスキルを発揮する場として来年度も継続して関わっていく予定です。

## ■その他

- 小川高校の「おがわ学サマーセミナー」にファシリテーターとして参加（8月）など

## ■協力隊外での活動

### ○ヒキギンコウ

建築家チーム KIWI architectsとして、旧比企銀行を再生しようと活動しています。市民の文化を貯蓄し学びあえる場所を作っていくことを目指し、今年度はマルシェを2回、イベント利用を3回行いました。現在第1期の改修事業を、下記のnegoyardと連携しつつ計画中です。

### ○negoyard

現在住んでいる建物を、住居兼事務所兼テナント貸しの複合施設として改修中。飯田地区の入口として人が集まるスペースを目指しています。ここでのスペース運営の実績を通してヒキギンコウの改修に繋げる予定です。

### ○その他の活動

#### ・オガトーOgawaTalk（協力隊泉地さんも参加）

小川町の暮らしを軸に、自身の生活の広がりについて語り合う関係を、分野や所属を超えて繋げることを目指し、体験と対話の場を作っています。

#### ・北裏St.フェスティバル（協力隊平岩さんも参加）

北裏通りを中心に、路地裏の空間を楽しみ、ストリートとして盛り上げていくこと目指してイベントを開いています。

・**北裏MUSICBAR**

小川町を中心に、音楽好きのコミュニティを形成するためにセッション・オープンマイクのイベントを開催しています。

・**その他制作活動**

チラシ・イラストの制作（上記イベントでのチラシのデザインや、イラスト制作等）

### **3、今後の取り組みについて**

#### **■活動の総括**

活動を通して町から学び大事にしていたこと

- ・ 自給自足するローカルメディア
- ・ 共感を促す小さな物語
- ・ 遊びによる都市空間の発見
- ・ 有機農業的思考による価値の読解

#### **■来年度の活動について**

来年度、協力隊として1年間の活動延長を希望しています。

スモリバが一つの大きなメディアになり、新人の方1人に任せるよりは複数でのチームとなって取材や運営をしていった方が良くと考え、サポートを行いつつ、スモリバのライターとしての活動を検討中です。

ただ、勤務日数を減らすことで、自身の設計・制作や企画、場所の運営などの仕事の時間を増やし、小川町を軸に総括で述べた視点を通して活動を続けていきます。